

2024 年度 新入生歓迎会実行委員会 総括

2024 年度新入生歓迎会実行委員会

委員長 川原 毅丈



1. 構成

新入生歓迎会実行委員会とは、学生自治会常任委員会・学園祭実行委員会・学科連合委員会により構成される委員会である。

2. 方針

2024 年度新入生歓迎会実行委員会は、学生団体にに対して“学生団体が公平に発表できる場を提供し、新入生と学生団体を繋げる”、新入生に対して“新入生歓迎会実行委員で協力して、新入生に最大限楽しんでもらえる場にする”という方針を掲げ、活動した。

3. 目的

2024 年度新入生歓迎会実行委員会は、“学生同士の交流を促し、工学院大学の魅力を知ってもらう”という目的を掲げ、活動した。

4. 企画

a) ステージ企画

新入生歓迎会実行委員会として企画を1つ出した。場所はいぶきホールを使用した。新入生の新しい人間関係の構築・既に組みあがった人間関係の発展を目的とした。ゲーム企画を通じて新入生を盛り上げた。また、景品を用意することでステージ企画自体の盛り上げを期待できる。新入生がステージ企画を通して今後の学生生活を充実させるための期待を持てるものにした。

b) イベント企画

イベント企画では、工学院大学について知ってもらい、他の新入生との交流の場を提供することでこれから始まる大学生活に対して期待感を持たせることを目的とした。場所は学生ラウンジ、1W-111を使用した。ゲームで協力してより高い得点を目指すゲームを行うことにより新入生同士の絆を深めてもらった。また景品を用意することでイベント企画の盛り上がりにつなげる事が出来た。

c) プース設置

学生団体が4月3日、6日にプースにて学生団体が勧誘活動を行った。学生団体のメンバーが新入生と個別に話すことのできる場になったとともに、新入生が学生団体のことをより詳しく知る機会になった。その際、プース設置場所には多くの新入生と学生団体がいることから、活動規約を遵守してもらう必要がある。そのため、新入生歓迎会実行委員会は学生団体が活動規約に違反した活動を行わないように監修した。

d) パンフレット

大学生活に対する不安を払拭し、学生生活への期待感を高めてもらった。様々な学生団体に新入生が興味を持つことで、学生団体が新規メンバーを獲得することを目的とするパンフレットを作成した。

e) 新入生交流会

新入生同士の交流する機会を増やすことで、これからの大学生活に期待感を持ってもらった。また、学生団体を認知することに関心を持ってもらうことを目的とした。新入生に工学院大学の詳しい学校生活や学生団体を紹介した。簡単なゲームをすることで、楽しみながら学校生活について知ってもらう。さらに、新入生が上級生と話す時間を設け、これからの学生生活についてよく知ってもらう。

f) Zoom 学生団体紹介

学生団体が4月5日にZoom 勧誘活動を行った。団体ごとに時間を分けて団体に所属するメンバーが新入生に紹介した。新入生が学生団体のことをより詳しく知る機会になった。新入生歓迎会実行委員会は学生団体が円滑に勧誘できるように運営し、活動規約に違反した活動を行わないように監修した。

g) 教室説明会

新入生が学生団体の説明を詳しく受けることを目的とした。新入生は各学生団体から直接、活動内容の映像や活動の実演といった方法で説明を受けることができ、新入生は学生団体の具体的な活動内容や雰囲気を知ることができた。よって学生団体がより多くの新入生を獲得することに繋がった。

h) 公式 SNS

新入生歓迎会の公式 SNS を運用し、新入生に大学生活の良いスタートを切ってもらうことを目的とし、媒体としてX(旧 Twitter)、公式 LINE、Instagram を介して、新入生歓迎会に関する様々な情報を新入生だけでなく様々な人にも情報がいきわたるよう、SNS の拡散力を活かすことにより、新入生歓迎会の広報にとどまらず、工学院大学の広報にも繋がった。

i) 立体アート

工学院大学の略称である“KUTE”という文字を1文字ずつ、高さ1.8メートルほどの立体で表した。また、“KUTE”という四つの文字を違う側面から見ると、それぞれに絵が描かれており、四つの絵が1つの絵に繋がるようなデザインを見ることが出来る構造にした。立体アートを設置することで、新入生が写真を撮ることが出来るフォトスポットとして使用してもらった。こういった作品を作ることで、新入生にその場で楽しんでもらうだけではなく、新入生歓迎会終わった後も思い出に残るように目指した。

j) キャンパス・プースマップ

校舎の配置を一目でわかるようにするためにキャンパスマップを設置した。また、新入生が興味のある学生団体のプースにスムーズに行けるようにフロアマップを設置した。場所はメインストリートを使用した。看板という目につきやすく、見やすい大きなマップを作成することで、多くの新入生にわかりやすく情報を提供することができた。

k) アンケート企画

新入生の要望を集めることで、新入生の需要を知りこれからの新入生歓迎会をより良くした。また、アンケートに回答することによる期待感を持たせることを目的とした。場所をメインストリートとすることで目につきやすく、興味を持ってもらうことができた。また、景品を用意し、抽選会とすることでアンケート回答の数を増やすとともに、新入生歓迎会を盛り上げた。